



# 未来茨木市2018



次なる茨木へ。  
茨木には、次がある。

## 青年茨木の会

中田真誠  
弘田京平  
泉昂太  
溝畑和輝

# 皆さんは駅から市役所まで何を使いますか



歩いて

- 約一キロ
- 15分



バスで

- 220円
- 10分待ち



車で

- 渋滞
- 駐車場がない

# 2038年のビジョンキヤッチコピー

～どんな茨木市にしたいのか～

自動車に代わる  
新しい交通システム

# 自動運転車専用レーン

- 目的

- 今後予測される自動運転化に対応する。
  - 中心市街地を活性化させる。
  - 未来技術を導入することで街の魅力を作る。

- 内容

- 阪急茨木駅からJR茨木駅までと川端通りの間を歩行者と自動運転自動運転車専用の道を整備する。

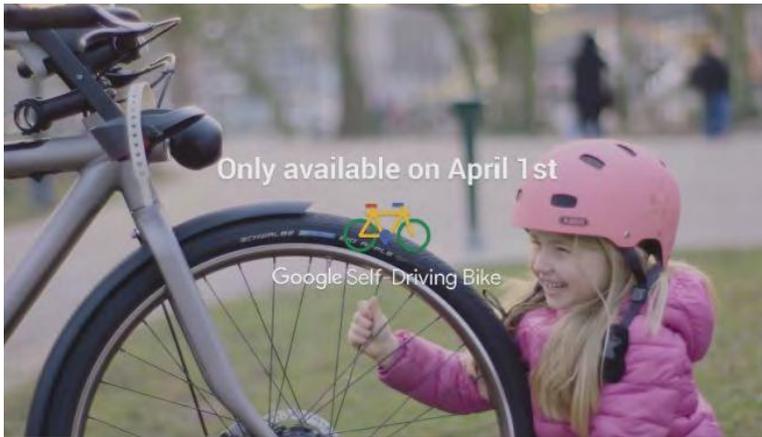
# 他都市での実証実験の様子



石川県輪島市



栃木県栃木市



© Google

自動運転自転車の  
開発が進めば...

# なぜこの事業が必要か

## ▶ 慢性的な渋滞

みなさんご存知のとおりです。

## ▶ 中央市街地の衰退

マイカーやバスで移動するめお店を素通りしてしまっている。

## ▶ 地域の魅力作り

山梨県のリニア、種子島のロケット、吹田の万博など最先端の技術を売りにしている町は多い。

# 他の市での事例

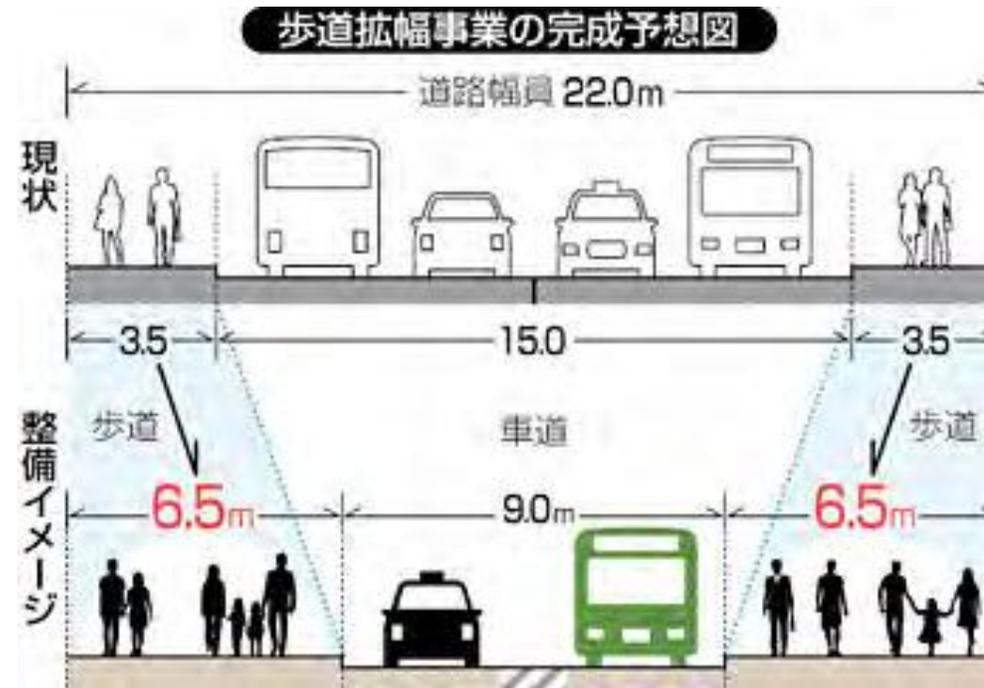
## ▶京都市 車線減少歩道拡張工事

### ▶ メリット

- ・ 商空間の活性化
- ・ 歩行者の安全確保
- ・ 路上駐車との減少

### ▶ デメリット

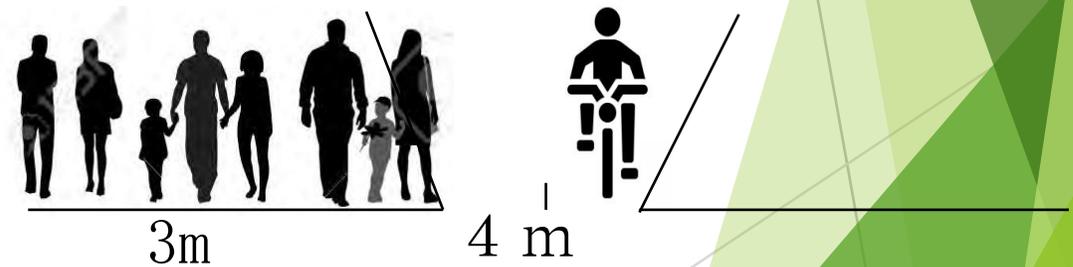
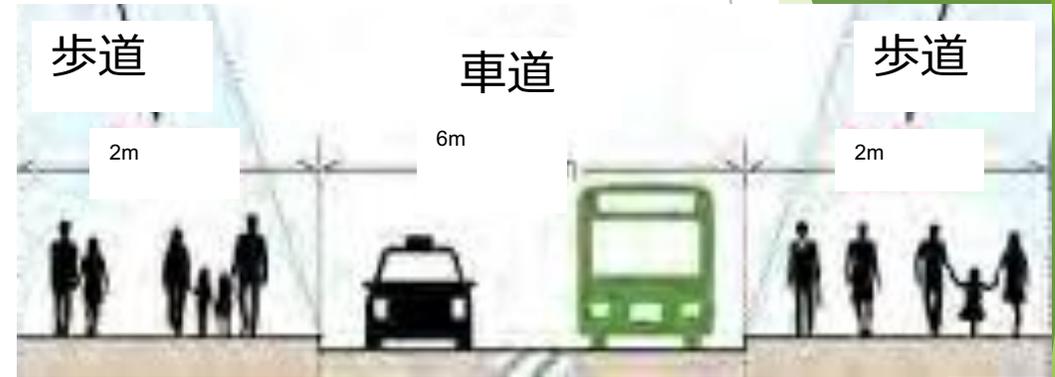
- ・ 県外観光客による渋滞
- ・ バスタクシーによる渋滞
- ・ 荷卸しができない



# 我々が提案する自動運転車専用レーン

## ▶ メリットはそのままに

- ・パーク＆ライドの活用でマイカーの流入を阻止
- ・スマートフォンなどで配車することでバスタクシーの廃止
- ・配送を無人化することで人手不足の解消



# 内容

赤線が専用レーンの予定地  
青が駐車場

阪急茨木駅からJR茨木駅まで  
約1.3km

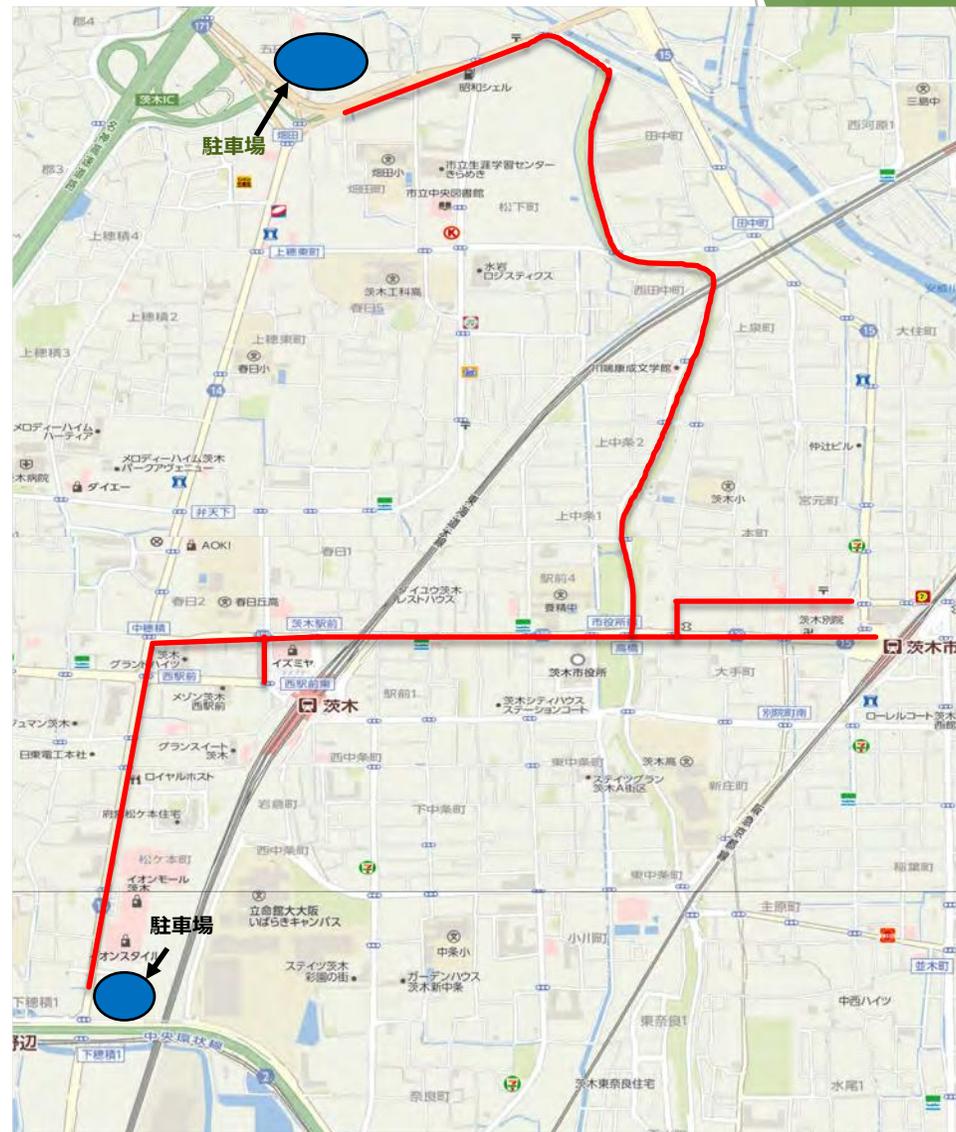
仲穂積から下穂積まで  
約1km

川端通り

約2.3km

本通り商店街

約400m



# 川端通りに露店を並べる



- 町の魅力作り
- 観光資源化
- 市民参加の店

# 費用

例 大阪府の事例（府立精神医療センター前）

500m 6億円

茨木市

5km 60億円

例 自転車代

茨木フィスティバル来場者数約3万8千人

計3万台×10万円

**計90億円**

# プロセス

## ▶ 第一段階 （社会実験）

JR阪急間にポールなどで区切った簡易的な道を作り市役所前の広場で行われるイベントの観客輸送を行う。

## ▶ 第二段階

JR茨木駅からイオンまで延伸しパークアンドライドを完成させる。

## ▶ 第三段階

川端通りを整備しマルシェを整備する。

An aerial night view of a city, likely Tokyo, with a dense network of glowing blue lines representing a transportation system. The lines form a complex web of routes, including a prominent circular loop and several radial lines. The city buildings are visible in the background, illuminated with various lights.

この事業で実現できること

交通改革

地域の魅力創生

ご清聴ありがとうございました

制作 青年茨木の会